

2009年度上期分として温室効果ガス 1,420 トン分のカーボンオフセットを実施

**環境に配慮した保険商品・サービスをご選択されるお客様が増えています**

2009年度上期実施件数 10万件突破・前年同期比17.5%増！

日本興亜損害保険株式会社(社長 兵頭 誠)では、自社が排出する温室効果ガスについて2012年度のカーボンニュートラル化を目指していますが、このほかお客様の温室効果ガス排出量削減を支援するため、保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを実施しています。

この度、インドにおける風力発電プロジェクトおよび水力発電プロジェクトから創出された排出権を取得して、2009年度上期分として合計1,420tのオフセット手続き(国連が認証した排出権の取得および日本国政府への無償譲渡)を完了しましたのでお知らせいたします。

このカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスは、2008年9月より実施していますが、今回の手続き分を加えたオフセットの累計は **2,436トン**となります。

これは**東京ドーム約67個分<sup>※</sup>のスギ森林**が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>に相当します。

\*80年生のスギ人工林1ha当たりのCO<sub>2</sub>吸収量を年間7.8トンとして試算(出展:林野庁ホームページ)

## ■目的・背景

弊社では、保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝え、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様の環境配慮行動(紙の省資源化や修理部品の省資源化など)を促していきたいと考えています。そこで、2008年度より本業である保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットの仕組みとして以下2つのプランを実施しています。

### ① 自動車保険「Web 確認」カーボンオフセット

「Web 確認」は自動車保険をご契約いただいた際に、お客様に紙による保険証券や約款の発行を行わず、インターネットでご確認いただくペーパーレスの仕組みです。Web 確認のご契約件数に応じて弊社が1件当たり50円を負担して、開発途上国における自然エネルギー系のクリーン開発メカニズム(CDM<sup>※1</sup>)から生まれる排出権(CER<sup>※2</sup>)を調達し、日本国政府に無償譲渡します。

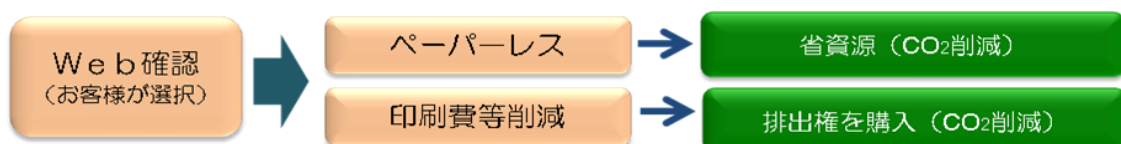
(※1)CDM(Clean Development Mechanism)とは

先進国が技術や資金を提供し、発展途上国でその国の持続可能な発展を助ける温暖化対策事業を実施。その事業によって生まれた排出削減量を、先進国の削減目標の達成に算入できる制度。

(※2)CER(Certified Emission Reduction)とは

国連で認証された開発途上国との共同事業であるCDMから得られる排出削減量

#### ■お客様と弊社のマッチングによる環境貢献



### ② 保険事故対応カーボンオフセット

車両保険事故の車両修理時に環境にやさしい樹脂バンパー補修やエコパーツ(リサイクル部品)を活用した件数に応じて、1件当たり50円を弊社が負担して、上記の自動車保険「Web 確認」カーボンオフセットと同様に、CERを調達し日本国政府に無償譲渡します。

## ■2009 年度上期分のカーボンオフセット実施内容

### 【オフセットの実施件数】

対 象	環境貢献効果	実施件数	前年同期比
自動車保険 Web 確認	紙の省資源化	76,010 件	118.6%
樹脂バンパー補修、エコパーツ活用	修理部品の省資源化	28,955 件	115.0%
合 計		104,965 件	117.5%

### 【オフセットした温室効果ガス排出量】

1,420 トン （排出権購入に要した費用:5,510,662 円）

### 【日本政府に無償譲渡した国連認証済排出権の内訳】

排出権種別	CER	CER
国連登録番号	0243	0750
プロジェクト名	RSMML によるインド、ラジャスタン州ジヤイサルマーにおける 14.8MW 小規模グリッド接続プロジェクト	K.M.Power 社 11.3MW グリッドシステム再生可能エネルギープロジェクト、インド
実施国	インド	インド
プロジェクトタイプ	風力発電	水力発電
認証済排出削減量	710トン (プロジェクト全体の予定削減量は133,523トン)	710トン (プロジェクト全体の予定削減量は211,984トン)

オフセット手続きについては、株式会社リサイクルワンならびに一般社団法人日本カーボンオフセットを通じて行っています。(別紙「カーボンオフセット証明書」参照)



(風力発電プロジェクト)



(水力発電プロジェクト)

\* オフセットの対象は、保険事故対応業務および保険のWeb申し込みにおいて排出するCO<sub>2</sub>量としていますが、実際にオフセットする量は前記のとおり1件につき50円の定額としています。したがって、オフセットの対象から排出されるCO<sub>2</sub>の算定結果に基づき実施しているものではありません。なお、カーボンオフセットの仕組みについては、弊社ホームページをご参照ください。  
([http://www.nipponkoa.co.jp/environment/carbon\\_off\\_set.html](http://www.nipponkoa.co.jp/environment/carbon_off_set.html))

## 【ご参考】

### ■オフセット以外の環境貢献効果

- (CO<sub>2</sub>換算)試算値 1,295トン

※ 紙の省資源化による効果は、実際に削減される印刷物重量から弊社で試算した概算値。  
また、樹脂バンパーおよびエコパーツ活用の効果は、社団法人日本損害保険協会のホームページに掲載のデータをもとに弊社で試算した概算値。

### ■その他の環境配慮型の保険商品

- 自動車保険契約におけるオフセット対象を拡大(「Eco-Net 約款」)

2009年12月に「Web 確認」に加えて、新たに自動車保険「Eco-Net 約款」<sup>※</sup>を追加しました。この「Eco-Net 約款」についても、弊社が1件当たり50円を負担してオフセットを行います。

※ 「Eco-Net 約款」とは

自動車保険をご契約いただいた際に、「保険証券は紙で発行してほしい」とのご要望にお応えした契約方式です。保険証券のみ発行し、「約款(安心ガイド)」についてはインターネットを通じてご確認いただけます。「約款」の作成にかかわる紙の原料調達や印刷・物流工程でのCO<sub>2</sub>を削減できます。

- 火災保険で「エコ・アクション・ポイント」を進呈(「Eco-Net 約款」)

2010年1月に火災保険の主力商品であるフルハウス(すまいの総合保険)などに、自動車保険と同様の「Eco-Net 約款」を導入しました。個人のお客様が「Eco-Net 約款」をご選択いただいた場合、50ポイント分の「エコ・アクション・ポイント」<sup>※</sup>を進呈しています。

※ 「エコ・アクション・ポイント」事業とは

家庭の温室効果ガスを削減するため、環境省が推進する事業です。エコ・アクション・ポイントを貯めるとさまざまなエコ関連商品などと交換することができます。家電や住宅の「エコポイント」とは異なります。

以上



# Carbon Offset Certificate

## カーボンオフセット証書

リサイクルワン・プロトコルに基づいて、下記の通りカーボンオフセットが完了したことを証します。

日本興亜損害保険株式会社

発行番号：14-4123-0001

証書発行日	：	2010年4月21日
オフセット量	：	710 t CO <sub>2</sub> e
オフセット対象	：	保険事故対応業務および保険のWEB申し込みにおいて排出するCO <sub>2</sub>
排出削減クレジット	：	CER (Certified Emission Reductions)
削減プロジェクト	：	RSMMLによるインド、ラジャスタン州ジャイサルマーにおける14.8MW 小規模グリッド接続プロジェクト (国連登録番号 0243)
シリアル番号	：	IN-000-000-032-197-765~IN-000-000-032-198-474
無効化方法	：	日本国政府の償却口座に移転
無効化完了日	：	2010年4月15日
制約条件	：	本証書に記載のオフセット対象は考え方を示すもので、保険事故対応業務 および保険のWEB申し込みにおいて排出するCO <sub>2</sub> 量を、実際に算定した訳 ではありません。

本証書は、株式会社リサイクルワンが自主的に定める「リサイクルワン・プロトコル」に基づいて、上記の通り適正にカーボンオフセットが完了したことを証すものです。「リサイクルワン・プロトコル」は、リサイクルワンのカーボンオフセット業務に係わる手順を規定するもので、英国カーボンニュートラル社のプロトコルを基に、日本国政府が公開する各種ガイドラインに則って規定されています。またその内容、およびリサイクルワンのカーボンオフセット業務がプロトコルに則って執行されている事実について、定期的に第三者機関の審査を受けることで信頼性・客観性を高めています。

温室効果ガス排出量の増加により、急速に地球温暖化が進行しています。市民、企業、行政等の社会構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、カーボンオフセットに取り組むことで、より効果的な地球温暖化対策が可能となります。



RECYCLE  
ONE



株式会社リサイクルワン 東京都渋谷区渋谷3-10-13  
Recycle One, Inc. 3-10-13, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo, Japan.

www.recycle1.com

